

科目名 (英名)	グローバルコミュニケーションA-1 (Global CommunicationA-1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴	本部国際センターであり、英語をはじめとする外国語教育を3万6000人の学生に対して提供しています。毎年、英語スピーチコンテストを主催し、入賞した学生をオーストラリアのクイーンズランド大学やアメリカのウエストフロリダ大学をはじめ教育提携校に短期語学留学で派遣しています。						
授業の学習 内容	対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	授業内評価100%(前期、後期それぞれ各レッスンの小テスト計5回/1 Unit × 6 Unit = 30回、出席率、試験)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
		演習	個人的な情報について尋ねる、また述べる ことができる。個人的な経歴等のプロフィール を読む、また書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	友達や家族について表現することができる。 友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書 かれている情報を読みとることができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	家や家具について話すことができる。 ホームシェアについてのメールを読む、書く ことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	好きな事について話すことができる。 商品のレビューを読み、書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	平日、週末のアクティビティについて話すこと ができる。 日常のアクティビティについてのレポートを 読む、また書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	道順について尋ねる、また教えることが できる。 場所についての特徴について読み、書くこと ができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	テスト前対策	
		演習	試験	
		演習	ふりかえり	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英名)	グローバルコミュニケーションB-1 (Global CommunicationB-1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴	本部国際センターであり、英語をはじめとする外国語教育を3万6000人の学生に対して提供しています。毎年、英語スピーチコンテストを主催し、入賞した学生をオーストラリアのクイーンズランド大学やアメリカのウエストフロリダ大学をはじめ教育提携校に短期語学留学で派遣しています。						
授業の学習 内容	対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	授業内評価100%(前期、後期それぞれ各レッスンの小テスト計5回/1 Unit × 6 Unit = 30回、出席率、試験)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
		演習	個人的な情報について尋ねる、また述べる ことができる。個人的な経歴等のプロフィール を読む、また書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	友達や家族について表現することができる。 友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書 かれている情報を読みとることができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	家や家具について話すことができる。 ホームシェアについてのメールを読む、書く ことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	好きな事について話すことができる。 商品のレビューを読み、書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	平日、週末のアクティビティについて話すこと ができる。 日常のアクティビティについてのレポートを 読む、また書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	道順について尋ねる、また教えることが できる。 場所についての特徴について読み、書くこと ができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	テスト前対策	
		演習	試験	
		演習	ふりかえり	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英名)	グローバルコミュニケーションC-1 (Global CommunicationC-1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	通年
教員の略歴	本部国際センターであり、英語をはじめとする外国語教育を3万6000人の学生に対して提供しています。毎年、英語スピーチコンテストを主催し、入賞した学生をオーストラリアのクイーンズランド大学やアメリカのウエストフロリダ大学をはじめ教育提携校に短期語学留学で派遣しています。						
授業の学習 内容	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	授業内評価100%(前期、後期それぞれ各レッスンの小テスト計5回/1 Unit × 6 Unit = 30回、出席率、試験)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
		演習	個人的な情報について尋ねる、また述べる ことができる。個人的な経歴等のプロフィール を読む、また書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	友達や家族について表現することができる。 友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書 かれている情報を読みとることができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	家や家具について話すことができる。 ホームシェアについてのメールを読む、書く ことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	好きな事について話すことができる。 商品のレビューを読み、書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	平日、週末のアクティビティについて話すこと ができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	日常のアクティビティについてのレポートを 読む、また書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	道順について尋ねる、また教えることが できる。	対面前オンデマンド予習
		演習	場所についての特徴について読み、書くこと ができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	テスト前対策	
		演習	試験	
		演習	ふりかえり	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	キャリアデザイン I ( Career Design I )		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	阿部翔平
学科・コース	エコ・テクノロジー科		授業 形態	講義、演 習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴	大学卒業後、アドベンチャーワールド、アニマルカフェ、八木動物園で勤務							
授業の学習内 容	学校での校内講義、および校外講義を実施し、職業人教育を通し、社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。 また個人での取り組みや、グループでの取り組みを行い、主体性を身につける。							
到達目標	個人、チームでそれぞれ取り組むことができる。 レポートの書き方を理解し、作成できる。							
評価方法と基準	試験30%、レポート20%、授業内評価50%							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1	/	講義	担任紹介、キャリアサポートアンケート、便覧(試験規定、各専攻の話)			自己紹介シートを配布		
2	/	講義	ITリテラシー、クラスマネジメント勉強会、飼育の考え方			資料(自己紹介シート回収、クラスマネジメント資料配布)		
3	/	講義、演習	レポートの書き方、学園祭準備(クラスマネジメント、ブレインストーミング)			レポート課題、仙台うみの杜水族館集合(年間パスポート取得5/13)		
4	/	講義、演習	マネジメント実習					
5	/	講義、演習	うみの杜水族館見学の振り返り 学園祭準備(クラスマネジメント)			パソコン持参		
6	/	講義、演習	学園祭準備(クラスマネジメント)			パソコン持参		
7	/	講義	行動観察について(サンプリング手法)			事前に八木山見学		
8	/	講義、演習	情報の重要性(生き物探偵)			資料		
9	/	講義、演習	情報収集についてⅠ、発表準備			お金(コイン)を各自準備		
10	/	講義、演習	情報収集についてⅡ			プレゼンテーション準備		
11	/	講義、演習	コンセンサス実習(NASAゲーム)			資料、次回に向け感動した動画など準備		
12	/	講義	思うは招く(感動について)			植松さん動画視聴、各自動画などコンテンツ紹介		
13	/	講義	DXリテラシー、担任とっておき講座Ⅰ			資料		
14	/	講義	担任とっておき講座Ⅱ、 テスト前ふりかえり			資料		
15	/	講義	テスト			FORMを使用		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 □								

科目名 (英)	ホスピタリティ (Hospitality)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松田青華
学科・専攻	エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴	フリーアナウンサーとして28年、テレビ・ラジオ・イベント等で活動。コミュニケーションが必須であるトークショーやインタビューが得意分野。現在は現役でありながら、後世の教育に従事。大学、専門学校、企業等に向けて、ホスピタリティ・コミュニケーションの大切さを伝える講師として12年目。						
授業の学習内容	動物、海洋、自然分野の多くはサービス産業に属す。接客や接客に関してももちろん、普段の生活において「人と人」「人とモノ」「人と社会」「人と自然」など、ホスピタリティが存在することでお互いを尊重し、関係が良好になる。この相互満足が良きコミュニケーションとなり、お互いの人生がより過ごしやすくなる。また「コミュニケーションスキル検定」教材のもとコミュニケーションについて取り上げるが、「ホスピタリティ」は「コミュニケーション」のひとつだと考えてほしい。普段の学生生活での人間関係はもちろん、どの分野も企業が欲しい人材として「コミュニケーション能力の高さ」を求めている。コミュニケーション能力を身に付けることで何よりも自分が生きやすくなり、自身の身を守る大きなツールとなる。そこにホスピタリティ精神を身に付けると自身のファンの獲得にもなる。ECO専門分野を学ぶ学生たちであるからこそ、人間関係を良好に育み、ストレスのない社会生活に向けて是非、参加意識を持って受講してほしい。授業は「楽しく学ぶ」がモットー。授業コンセプト「もう一度逢いたい人になる」動画での授業が基本ですが、各自ワークも出来るように工夫し、参加型オンデマンドをお届け。						
到達目標	①ホスピタリティ・コミュニケーションがなぜ必要性を理解し、意識する習慣が身に付く ②ホスピタリティの実践が出来る ③自己肯定感・利他の心を得る ④伝達力のアップ ⑤ビジネスマナーの基本を習得						
評価方法と基準	筆記試験、レポート、授業内評価 総合評価で100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1-2		講義、演習	本授業の概要。自己紹介。 ホスピタリティ・コミュニケーションの必要性について。ホスピタリティについてのディスカッション。ホスピタリティの歴史と文化、語源など基本学習	
3-4		講義、演習	日本のサービス産業の現状。サービスと経済、ホスピタリティを体感する。ディスカッションカードゲーム	
5-6		講義、演習	ホスピタリティの領域・コンプライアンス、自己を知る①内省ワーク	
7-8		講義、演習		
9-10		講義、演習	ホスピタリティの実践②、専門分野のホスピタリティについて	
11-12		講義、演習	コミュニケーションの重要性と基本、コミュニケーションのプロセスを理解と手法	
13-14		講義、演習	傾聴の大切さ、前期試験 まとめ	
15-16		講義、演習	前期レポート課題 総括、前期振り返り。伝わる話し方。印象に残る自己紹介	
17-18		講義、演習	質問の仕方、グループについて、関係を深める言葉と上手な頼み方、断り方、自己主張	
19-20		講義、演習	祝いの重要性を服装・メイクなどを用いてワーク(プロモデルから学ぶ)、自己主張と感情のコントロール(アングーマネジメント)	
21-22		講義、演習	サービスマインド(ホスピタリティマインド)実例から学ぶ、プレゼンテーション演習①発表内容作成	
23-24		講義、演習	プレゼンテーション演習②ミニプレゼンテーション、ビジネスマナー基礎	
25-26		講義、演習	ビジネスマナー演習(ドアの開け方・お茶出しなど)、検定試験対策	
27-28		講義、演習	ホスピタリティ実践ワーク①、ホスピタリティ実践ワーク②	
29-30		講義、演習	後期試験 まとめ、通年学習総括	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
ホスピタリティ・コーディネーター教本(副本)コミュニケーションスキルアップ検定				

科目名 (英)	インフォメーションテクノロジー I (Information Technology I)	必修 選択	必修・選択必修・選 択等	年次	1	担当教員	齋藤 基
学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	IT企業にてシステム開発、就労継続支援事業所にて障害者サポート、その他法人向けIT講師、小学校プログラミング授業等						
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会で求められるITスキルを習得します。エクセル・ワードは、ビジネスシーンで必須のスキルです。この授業では、データ分析、資料作成、文書作成など、社会で必要となるITスキルを習得します。</li> <li>・実践的なスキルを身につけます。単に操作方法を覚えるだけでなく、実際に課題に取り組むことで、実践的なスキルを身につけることを重視します。</li> <li>・論理的思考力と問題解決能力を養います。</li> <li>・エクセル・ワードを活用することで、データを分析し、課題を解決することができます。この授業を通して、論理的思考力と問題解決能力を養います。</li> </ul>						
到達目標	10分間タイピング 400字以上入力できる 社会で通用するように基本的なビジネス文書作成・各種様式作成が30分程度で作成できる						
評価方法と基準	1) 定期試験80% : Word40%(社外ビジネス文書が60分以内で作成できるか評価) Excel40%(指定様式が60分以内で作成できるか評価) 2) 授業内評価20%(授業時間内での課題の取り組みで評価)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習・実技	PC基本操作、タイピング、Word基本操作	第1章復習問題
2		講義・演習・実技	文書の効率の良い編集(文字列の削除、挿入、移動、コピー、箇条書き、インデント、フォント、ヘッダーフッター、ワードアート、画像の挿入、図形の作成など)ができる、基本文書の作成練習	第2章・第3章復習問題
3		講義・演習・実技	オブジェクト(画像、図形)を編集することができる、表を活用(表の挿入、行・列の挿入と削除、高さや幅の変更、セルの結合・分割など)した文書を作成することができる	第4章・第5章復習問題
4		講義・演習・実技	便利な機能として、検索と置換、校正、段落の設定、タブとリーダー、ページ罫線等を使用することができる、SmartArtグラフィックを活用した文書を作成することができる	第6章・第7章復習問題
5		講義・演習・実技	表紙や目次、見出し、テーマなどを設定することができる	第8章復習問題
6		講義・演習・実技	Wordまとめ 課題作成	第9章復習問題
7		講義・演習・実技	Excelの基本操作、セルに入力ができる、範囲選択ができる、ファイルを保存することができる	第1章復習問題
8		講義・演習・実技	数式を入力して計算することができる、関数を知る、セルの書式を設定することができる	第2章・第3章復習問題
9		講義・演習・実技	棒グラフや円グラフなどのグラフを作成することができる、シートを印刷することができる	第4章・第5章復習問題
10		講義・演習・実技	ワークシートの操作として、検索や置換、ウィンドウの分割、整列、枠の固定ができる	第6章復習問題
11		講義・演習・実技	いろいろな関数を設定することができる	第7章復習問題
12		講義・演習・実技	データベースの機能として、表の構成やデータの並べ替え、フィルターを使用することができる、Excelの便利な機能として、テーブルを追加したり、スパークライン等を使用することができる	第8章・第9章復習問題
13		講義・演習・実技	ワードアートやSmartArt、コメントを活用することができる、課題作成	第10章・第11章復習問題
14		試験	前期末試験 Wordでの文書作成テスト、Excelでの様式作成テスト	
15		講義	前期末試験の振り返り	10分タイピングテスト
準備学習 時間外学習			演習問題等で操作を復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
株式会社滋慶出版 Word Office365&2021 COMPUTER BASIC for windows、Excel Office365&2021 COMPUTER BASIC for windows				

科目名 (英)	インフォメーションテクノロジー I (Information Technology I)	必修 選択	必修・選択必修・ 選択等	年次	1年	担当教員	齋藤基(PPT) 氏家和寛 (PS)
		授業 形態	講義・演習・実習 等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期・ 通年・集中等
学科・コース	エコ・テクノロジー科						
教員の略歴	(齋藤)IT企業にてシステム開発、就労継続支援事業所にて障害者サポート、その他法人向けIT講師、小学校プログラミング授業等 (氏家)企業にて人材育成・社員研修を担当、地域おこし協力隊後に起業、現在はSNS構築、Webマーケティング支援等						
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション能力を向上します。</li> <li>基本的なPowerPoint操作を習得し、自分でプレゼンテーション資料を作ることができるようになります。</li> <li>・デザインスキルを身につけます。</li> <li>Photoshopにて基本的な画像編集操作を習得し、自分で画像編集ができるようになります。</li> </ul>						
到達目標	PowerPointを使用して明確に自分の伝えたいことをスライドに表現ができるようにする Photoshopを使用して、自分で考えたデザインを作成できる						
評価方法と基準	1) 定期試験80% : PowerPoint40%(与えられたテーマを盛り込みスライド5枚で表現できるか評価) Photoshop40%(与えられたテーマでデザイン作成できるか評価) 2) 授業内評価20%(授業時間内での課題の取り組みで評価)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習・実技	プレゼンテーションについて知る、PowerPoint基本操作、表紙を作成、スライドを挿入、フォントやデザインテーマを設定することができる	
2	10月11日	講義・演習・実技	ワードアートや、画像・イラストを挿入することができる、図形を描き、編集することができる	演習問題(配布)
3	10月18日	講義・演習・実技	表やグラフを挿入することができる、SmartArtグラフィックを挿入することができる	演習問題(配布)
4	10月25日	講義・演習・実技	スライドに効果を設定することができる、文字や図形にアニメーションを設定することができる	演習問題(配布)
5	11月1日	講義・演習・実技	スライドショーを効果的に実行することができる、ノートを作成することができる、プレゼンテーション印刷することができる	演習問題(配布)
6	11月8日	講義・演習・実技	スライドマスター、ヘッダー・フッターを挿入することができる、WordやExcelを利用することができる	演習問題(配布)
7	11月15日	講義・演習・実技	プレゼンテーション時のサポート機能と使うことができる、PowerPointまとめ 課題作成	第11章練習問題
8	11月22日	講義・演習・実技	プレゼン資料作成演習、プレゼン本番の注意点、プレゼン	
9	11月29日	講義・演習・実技	Photoshop基本操作、主な機能としてツールパネル、オプションバー、レイヤーマスク等を使うことができる	
10	12月6日	講義・演習・実技	画像編集、色調補正、明るさ・コントラスト、ノイズ処理、ぼかし、シャープ、レイヤーマスク等を使うことができる	プリント演習
11	12月13日	講義・演習・実技	選択範囲、合成(コピースタンプツール、修復ブラシツール、パス等)することができる	プリント演習
12	12月20日	講義・演習・実技	文字入力、フォント設定、ワーブツール、フィルター(ぼかし、シャープ、ノイズ等)を使うことができる	プリント演習
13	1月10日	講義・演習・実技	Photoshopまとめ 課題作成	プリント演習
14	1月24日	試験	後期末試験 PowerPointのスライド作成テスト、Photoshopのデザイン作成テスト	
15	1月31日	講義	後期末試験の振り返り	
準備学習 時間外学習			演習問題等で操作を復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
株式会社滋慶出版 PowerPoint Office365&2021 COMPUTER BASIC for windows、自社作成テキスト(Photoshop)				

科目名 (英)	アニマルベーシック (Basic Animal Study)		必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	高山清次
	学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	麻布大学大学院博士課程修了(獣医学博士) ブルークロス動物病院院長							
授業の学習内容	動物に関する勉強をする場合の生物学的基礎知識を理解することを目的としている。							
到達目標	この科目を受講した学生が、基礎生物学の知識を身につけることにより、動物業界で活躍する人材になることを目標としている。							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業内評価:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・演習	光合成・食物連鎖、血液の役割・成分・生成、消毒・滅菌を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義・演習	ゾノーシス、濃度計算と希釈法、バイタルサイン、生体防御システムを説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義・演習	エイズと免疫、アレルギーと免疫、ワクチンと免疫、外分泌と内分泌、代謝を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義・演習	遺伝、繁殖、イヌとネコの交配を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義・演習	DNA・遺伝子・ゲノム、体細胞クローン動物、外来種、絶滅危惧種を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義・演習	温暖化、酸性雨、オゾンホール、エコロジー関連の国際条約を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
7	/	講義・演習	温暖化、酸性雨、オゾンホール、エコロジー関連の国際条約を説明できる。	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
8	/	講義・演習	動物の進化とゲノムDNAの進化を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
9	/	講義・演習	イエヌの歴史、人間と家畜の歴史、動物の仕事に携わる基としての倫理を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
10	/	講義・演習	栄養学について①	講義範囲を予習・復習する。
11	/	講義・演習	栄養学について②	講義範囲を予習・復習する。
12	/	講義・演習	栄養学について③	講義範囲を予習・復習する。
13	/	講義・演習	栄養学について④	講義範囲を予習・復習する。
14	/	講義・演習	評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15	/	講義・演習	評価試験返却・解説・まとめ	試験範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習 時間外学習			学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
「ECO業界で役立つ基礎生物 株式会社滋慶出版」「動物年表で知るアニマルヒストリー 株式会社滋慶出版」				

科目名 (英)	アニマルヒストリー (History of Animals and Human)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	森内勇樹
学科・専攻	エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	生家が獣医師のため幼少より動物の飼育、管理に携わる。20歳の時より非常勤講師として日本動物植物専門学校において動物の進化を教え始め、特に海洋生物の発生と陸上進出に関しては詳しい。						
授業の学習内容	我々が地球と共存していく上で、他の動植物を無視することは出来ない。地球創世時～人が文明を持つまでの流れを理解し、動物の進化を知ることは現存する生物たちの生態、行動を理解する上で、とても重要である。生命の無い場所からの生物誕生～現在までの理解を深める。						
到達目標	地球の生き立ち、生物の発生、生物の進化、ヒトと地球の関係、環境破壊と保全を理解することができる。						
評価方法と基準	ペーパーテストと出席点によって評価。出席点は予め20点を与え、1回欠席ごとに-5点とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	概論 講義の内奥と進め方	
2	/	講義	宇宙Ⅰ 成り立ちと銀河系	
3	/	講義	宇宙Ⅱ 地球	
4	/	講義	生命の誕生 原核生物からカンブリア爆発	
5	/	講義	魚類 魚類の発生と淡水への適応	
6	/	講義	昆虫類 昆虫類の上陸作戦	
7	/	講義	植物 植物の上陸と地球環境の変化	
8	/	講義	両生類 両生類の重力対策	
9	/	講義	爬虫類 恐竜	
10	/	講義	哺乳類 恐竜と獣弓類	
11	/	講義	哺乳類と鳥類 互いの覇権争い	
12	/	講義	ヒト 類人猿からヒトまでの進化	
13	/	講義	ヒト ヒトの未来と環境	
14	/	講義	地球の生き立ちから生物の進化、地球環境の変化について説明でき、自分の考えを述べるようになる。	
15	/	講義	学習内容の総括	
準備学習 時間外学習		授業中に適宜に課題を与える。授業中に取ったメモなどを元にノートを作成する。		
【使用教科書・教材・参考書】 □				
次世代のための環境教育				

科目名 動物の健康管理 (英) (Health Management of Animals)		必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	長嶺 幸介	
学科・コース		エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	競走馬牧場、乗馬クラブ、総合ペットショップ、移動動物園、NPO法人生態科学研究所副理事							
授業の学習内容	身近な哺乳類について分類や品種、習性や体の特徴などを知ることで正常な状態なのかを知り適正飼育ができるように学ぶ またその動物の病気や飼育環境についても学び飼育に生かす							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物について学び適正飼育ができるようになる</li> <li>動物たちについて理解しようとする、努力ができる</li> <li>正常を知って異常に早く気づき、適切に報告や対応、検証ができるようになる</li> </ul>							
評価方法と基準	授業内評価: 40% 定期試験: 60%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	飼養管理に対する責任について理解する	ノート整理とまとめ
2	/	〃	モルモットについて理解できる	〃
3	/	〃	モルモットの管理、デグーについて理解できる	〃
4	/	〃	デグーの管理、チンチラについて理解できる	〃
5	/	〃	チンチラの管理、ウサギについて理解できる	〃
6	/	〃	ウサギの管理、リス科動物について理解できる	〃
7	/	〃	プレーリードックとジリスについて理解できる	〃
8	/	〃	プレーリードックとジリスの管理について理解できる	〃
9	/	〃	シマリスについて理解し管理できる	〃
10	/	〃	ハムスターについて理解し管理できる	〃
11	/	〃	ハリネズミについて理解し管理できる	〃
12	/	〃	フェレットについて理解し管理できる	〃
13	/	〃	フクロモモンガについて理解し管理できる	〃
14	/	〃	テスト	〃
15	/	〃	まとめ	〃
16	/			
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	動物の体のしくみ (Anatomy and Physiology of Animals)		必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	石田義成
	学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義、演 習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	農学博士、近畿大学農学部水産学科非常勤講師。環境省(財)環境科学総合研究所にて高濃度のCO2および農薬が生物に及ぼす影響について研究。海外での環境保全・野生動物保護活動を行う(アルゼンチン国立ラプラタ大学にてラプラタ川の生物調査、カンボジアのメコン川およびボルネオのキナバタンガン川に生息するカワイルカの調査と保護活動)。							
授業の学習内容	動物園など動物飼育の仕事において、専門知識や技術をもつ人材を養成するだけでなく、根底にある動物達の解剖学的・生理学的要因を学ぶ。動物の体のしくみについての基礎的知識を習得し、これから実施していく動物園などでの業界研修のときに必要とする知識を習得することを目的とする。							
到達目標	受講者は、この授業を履修することによって、動物を仕事で扱う際に何か問題が起きたとき、その動物がなぜそのようになっているのか？ その問題の根底にある原因を考えられるようになることを目標とする。							
評価方法と基準	試験40%、出席60%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	【骨格系1】骨格の構造と機能を理解する。	動画視聴
2	/	講義	【骨格系2】Caイオンと骨の関係を理解する。	動画視聴
3	/	講義	【骨格系3】動物たちの行動と骨格のしくみの関係を理解する。	動画視聴
4	/	講義	【循環器系1】心臓構造と血液循環について理解する。	動画視聴
5	/	講義	【循環器系2】循環系の検査方法(心拍数・血圧・心電図)について理解する。	動画視聴
6	/	講義	【中枢神経系】脳の役割と検査方法(脳波)について理解する。	動画視聴
7	/	講義	【視覚1】眼の構造と機能について理解する。	動画視聴
8	/	講義	【視覚2】色覚のしくみについて理解する。	動画視聴
9	/	講義	【視覚3】動物たちの行動と色覚との関係を理解する。	動画視聴
10	/	講義	【視覚4】眼以外の視覚(松果体・赤外線感知)	動画視聴
11	/	講義	【聴覚1】動物の聴覚のしくみを理解する。	動画視聴
12	/	講義	【聴覚2】動物のエコロケーションのしくみを理解する。	動画視聴
13	/	講義	【嗅覚】動物の聴覚のしくみを理解する。	動画視聴
14	/	講義	【味覚】動物の味覚のしくみを理解する。	動画視聴
15	/	講義	【総括授業】総括授業を行う。	レポート課題
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	次世代のための環境教育 I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	加藤直邦
(英)	(Environmental Study for Next Generation I)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
学科・専攻	エコ・テクノロジー科						
教員の略歴	ケニア・プロサファリガイド / アフリカ野生生物管理大学 / 青年海外協力隊、環境教育活動						
授業の学習内容	主にeco検定(環境社会検定試験)テキストを教材とし、一般常識として地球のしくみや、人間の歴史を通じて環境問題を考え、次世代型環境教育ビジネスに活かせる知識や技術を習得する。						
到達目標	地球環境や自然保護についての基礎知識を学ぶ。 動物や自然を通して自分の考えを伝える技術を身につける。 SDG'sや国際条約などの取り組みを理解し具体的に支援していく。 グローバル社会に対応するための社会人育成。						
評価方法と基準	筆記テストにおける理解力チェックと、発表による評価 Teams による「授業おさらいクイズ」など課題の提出 筆記テスト80%、授業内評価20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	なぜ環境問題を学ぶのか知る	エコ検定試験について調べる
2	/	講義	環境問題の歴史を知る	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
3	/	講義	SDG'sを知る	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
4	/	講義	宇宙のしくみと地球の歴史を知る	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
5	/	講義	大気にまつわる環境問題を学ぶ	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
6	/	講義	大気にまつわる環境問題を学ぶ	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
7	/	講義	海洋のしくみと環境問題を学ぶ	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
8	/	講義	屋内アクティビティを体験する	Teams による感想レポートの提出
9	/	講義	水循環と環境問題を学ぶ	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
10	/	講義	土壌と森林について学ぶ1	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
11	/	講義	土壌と森林について学ぶ2	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
12	/	講義	熱帯雨林について考える	Teams による感想レポートの提出
13	/	講義	中間テスト前の授業を復習する	エコ検定過去問題集で復習
14	/	講義	中間テスト	試験範囲の予習と対策
15	/	講義	テストの振り返りと自己評価する	不正解問題の訂正
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 動物飼育演習 I (英) (Practice of Zoo Keeping I)		必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	津嶋 一樹	
学科・コース		エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴	仙台ECO2016年卒 その後「株東北サファリパーク」入社 2021年8月に本校講師就任							
授業の学習内容	学校にて飼育している動物の管理や観察の方法を学び、飼育の知識・経験を養う							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校動物の基本的な管理、飼育ができる</li> <li>・動物の健康状態を判断し、状況に合わせた対応ができる</li> <li>・時間管理やコミュニケーション等を自ずと実践できる</li> </ul>							
評価方法と基準	授業内評価:40% レポート:40% 小テスト:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	学校動物の種類を理解できる	復習・レポート
2	/	〃	動物飼育の注意点を理解できる	〃
3	/	〃	飼育の心構えを理解できる	〃
4	/	演習	飼育の流れを把握できる	〃
5	/	〃	協力して飼育できる	〃
6	/	〃	コミュニケーション能力を発揮できる	〃
7	/	〃	時間管理ができる	〃
8	/	〃	動物観察ができる	〃
9	/	〃	周囲に気を配ることができる	〃
10	/	〃	計画を立てて飼育ができる	〃
11	/	〃	優先順位を理解できる	〃
12	/	〃	積極的にやるべきことに取り組める	〃
13	/	〃	小テスト	〃
14	/	〃	まとめ	〃
15	/	〃	臨機応変な対応ができる	〃
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	陸上動物 ( Biology of Terrestrial Animals )	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	永山雄一
	学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	獣医師、仙台市動物管理センター、八木山動物公園、太白保健所、食肉衛生検査所勤務を経て動物系専門学校兼任講師						
授業の学習内容	自然環境の変化に適応しながら進化してきた動物の歴史を追い、機能・構造の共通性と独自性を学ぶ。						
到達目標	生物の歴史を説明できるようになる。 動物の進化を説明できるようになる。 それぞれの動物の生態を説明できるようになる。						
評価方法と基準	授業内評価40%、定期試験60%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月11日	講義	原始地球、生命の始まりを説明できる	
2	4月18日	講義	動物、植物の祖先を説明できる	
3	4月25日	講義	脊椎動物の始まりを説明できる	
4	5月9日	講義	両生類から陸へ上がる適応を説明できる	
5	5月16日	講義	爬虫類、哺乳類の祖先の進化を説明できる	
6	5月23日	講義	爬虫類、鳥類の進化を説明できる	
7	5月30日	講義	哺乳類の進化を説明できる	
8	6月11日	講義	哺乳類の適応放散を説明できる	
9	6月20日	講義	哺乳類の真獣類への進化を説明できる	
10	6月27日	講義	真獣類の分類を説明できる	
11	7月2日	講義	実際に動物園で骨格などを観察する	
12	7月11日	講義	観察の振り返り	
13	7月18日	講義	テスト前まとめ	
14	8月22日	講義	試験	
15	8月29日	講義	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	動物園・水族館研究 ( Study of Zoo & Aquarium)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	岡村裕美
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年 曜日・時限
学科・コース	エコ・テクノロジー科						
教員の略歴	複数の動物園 水族館に勤務。飼育展示、調教、広報、ショーの運営進行などを経験。飼育技師資格有						
授業の学習内容	①動物園の歴史、役割 業務、内容について理解し、現場で即戦力となるために必要である ②動物園 水族館の役割に携わる科目と深く関係する。 ③学生の皆様には、動物園や水族館の役割や歴史、現状を正しく理解し、 業界人としての知識を習得していただきたい。						
到達目標	・動物園の歴史について習得する。 ・動物園の役割について正しく知る。 ・動物園の業務について理解し、現場での対応に役立てる。						
評価方法と基準	1)定期試験 70% 2)小テスト 30% ※講義内容の理解力を重視し、期間内の小テストで授業への取り組み姿勢を評価する ※小テストでは、準備学習成果も評価対象とする ※理想的な達成レベルはC以上						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月12日	講義	動物園の概要を知る	ノート復習
2	4月19日	講義	世界の動物園の歴史を理解できる	〃
3	4月26日	講義	初期の日本の動物園の歴史を知る	ノート復習及び小テスト準備
4	5月10日	講義	戦中、戦後まもない動物園を理解する(小テスト)	ノート復習
5	5月17日	講義	昭和20年代の動物園を説明できる	〃
6	5月24日	講義	昭和30年代の動物園を説明できる	ノート復習及び小テスト準備
7	5月31日	講義	昭和40年代の動物園を理解する(小テスト)	ノート復習
8	6月14日	講義	昭和50年代の動物園を理解する	〃
9	6月21日	講義	平成から近年における動物園を知る	〃
10	6月28日	講義	動物園の運営について知る(小テスト)	ノート復習及び小テスト準備
11	7月5日	講義	動物園の展示方式について理解する	ノート復習
12	7月12日	講義	日本動物園水族館協会について知る	〃
13	7月19日	講義	前期まとめ	前期の復習及び試験準備
14	8月23日	試験	記述テスト	
15	8月30日	解説	前期ふりかえり	
準備学習 時間外学習			授業内容をノートにまとめ読み返す	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
改訂版 新 飼育ハンドブック(動物園編) 日本の動物園				

科目名 (英)	海洋哺乳類 ( Marine Mammal Science )	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	藤田智子
学科・専攻	エコ・テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	畜産学科卒業後、千葉県鴨川シーワールド入社。海獣飼育員として勤務。						
授業の学習内容	母乳で子育てをしたり、肺で呼吸をする海洋哺乳類の生態を学ぶ。						
到達目標	陸上とは全く異なる環境に生きる動物について生理・生態など説明できるようになれば良い。						
評価方法と基準	授業内評価 30% 試験 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月12日	演習	ガイダンス	テキスト・ノート確認
2	4月19日	演習	海牛について説明できる。	テキスト・ノート確認
3	4月26日	演習	鯨類について説明できる。	テキスト・ノート確認
4	5月10日	演習	鯨類について説明できる。	テキスト・ノート確認
5	5月17日	演習	鯨類について説明できる。	テキスト・ノート確認
6	5月24日	演習	鯨類について説明できる。	テキスト・ノート確認
7	5月31日	演習	鯨類について説明できる。	テキスト・ノート確認
8	6月13日	演習	鯨類について説明できる。	テキスト・ノート確認
9	6月20日	演習	鰭脚類について説明できる	テキスト・ノート確認
10	6月27日	演習	鰭脚類について説明できる	テキスト・ノート確認
11	7月4日	演習	鰭脚類について説明できる	テキスト・ノート確認
12	7月11日	演習	鰭脚類について説明できる	テキスト・ノート確認
13	7月18日	演習	鰭脚類について説明できる	テキスト・ノート確認
14	8月22日	演習	試験	
15	8月29日	演習	振り返り	テキスト・ノート確認
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	コンパニオンドッグ (Companion Dog)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	三田舞
学科・専攻	エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
						曜日・時限	金3
教員の略歴	動物系専門学校を卒業後、犬猫のテーマパークで勤務。ドッグトレーナーとして独立。アニマルファミリー代表。						
授業の学習内容	犬種、犬の歴史、犬とはどういう生き物かを学ぶ。						
到達目標	各犬種の特徴を知り、作出された用途を理解し犬を深く理解する。また、犬とはどのような生き物か、どう扱うかを学ぶ。						
評価方法と基準	定期試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	犬種学・しつけの意義	
2	/	講義	犬種学・遊びの重要性	
3	/	講義	犬種学・リーダーシップ	
4	/	講義	犬種学・犬の五感	
5	/	講義	犬種学・犬の本能1	
6	/	講義	犬種学・犬の本能2	
7	/	講義	犬種学・犬の攻撃性1	
8	/	講義	犬種学・犬の攻撃性2	
9	/	講義	犬種学・犬の攻撃性3	
10	/	講義	犬種学・問題解決ディスカッション	
11	/	講義	犬種学・問題解決ディスカッション	
12	/	講義	犬種学	
13	/	講義	犬種学	
14	/	試験	試験	
15	/	講義	試験の答え合わせ・解説	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	グルーミング演習 (Practice of Basic Grooming)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	菊池真希
学科・専攻	エコ・テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	通年
教員の略歴	SCA卒業後、トリマーとして勤務。ドッグカフェ付トリミングサロンにて店長就任。現在はフリーのトリマー。						
授業の学習内容	犬の扱い方、道具の使い方などを学び正しく使えるようになるために、座学およびモデル犬での実技を通して実践する。 分からないことは質問し、考える力を身につける。						
到達目標	犬の扱い方、道具の使い方などを学び正しく使えるようになる。 カットの前までのグルーミングができるようになる。						
評価方法と基準	普段の実習での取り組み80% 出席数20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	道具の使い方が理解できる	講義範囲の復習
2	/	講義・演習	演習の仕方が理解できる	演習範囲の復習
3	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
4	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
5	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
6	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
7	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
8	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
9	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
10	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
11	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
12	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
13	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
14	/	演習	試験	演習範囲の予習・復習
15	/	演習	まとめ	演習範囲を振り返る
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	マネジメント I	必修 選択	必修選択	年次	1	担当教員	阿部敏計
	(Management)	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
学科・コース	エコ・テクノロジー科						
教員の略歴	東北大学農学部修士修了後、八木山動物公園勤務、2017年副園長で退職、2023年より河北町児童動物園学芸員採用						
授業の学習 内容	①動物園の運営、動物の管理・導入方法などを学ぶ。②更に、動物園では動物や動物を取り巻く環境をより多くの人に知ってもらうため、そして集客のために、職員がイベントを企画して実施している。そこで、テクノロジー専攻の学生は、イベントを実際に企画して実施できるようになるためにこの授業を行う。③「進級制作」と関係。						
到達目標	動物関係のイベントのマネジメント(企画・実施)が自分できるようにすることと、動物園関係法規を覚える。						
評価方法と 基準	1) 定期試験60% 2) 授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	動物園をマネジメントする: 動物園の年間スケジュール	講義範囲を復習する
2	/	講義	動物園に関わる法規を理解する	講義範囲を復習する
3	/	講義	動物をマネジメントする: 個体管理・台帳	講義範囲を復習する
4	/	講義	イベントの企画について学ぶ	講義範囲を復習する
5	/	講義	動物導入方法について学ぶ①国内	講義範囲を復習する
6	/	講義	動物導入方法について学ぶ①海外	講義範囲を復習する
7	/	演習	八木山動物公園へ: 11と12回での演習のためにパンダとトラ見学と現状把握	
8	/	演習	実際にイベントを企画してみる① 動物のお話し	企画書を作成する
9	/	演習	実際にイベントを企画してみる② 動物クイズ	企画書を作成する
10	/	演習	実際にイベント企画してみる③ 自分で考えて企画	企画書を作成する
11	/	演習	実際に動物導入を企画してみる① レッサーパンダ(国内)	企画書を作成する
12	/	演習	実際に動物導入を企画してみる② スマトラトラ(海外)	企画書を作成する
13	/	講義	復習	
14	/	講義	試験	
15	/	講義	振り返り	
	/			
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
動物園マネジメント 学文社				

科目名	ドッグトレーニング I	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	三田舞
(英)	(Dog Training I)	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8	開講区分	通年
学科・専攻	エコ・テクノロジー科					曜日・時限	金4-5
教員の略歴	動物系専門学校を卒業後、犬猫のテーマパークで勤務。ドッグトレーナーとして独立。アニマルファミリー代表。						
授業の学習内容	犬を扱う上での基本的な技術を学ぶ。						
到達目標	基本的な犬の扱い方を学び、犬との信頼関係を構築する。自分自身に合うトレーニングを見つける。						
評価方法と基準	定期試験80% 出席率20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	演習	犬慣れ、トレーニング方針の説明	
2	/	演習	トレーニング	
3	/	演習	トレーニング	
4	/	演習	トレーニング	
5	/	演習	トレーニング	
6	/	演習	トレーニング	
7	/	演習	トレーニング	
8	/	演習	トレーニング	
9	/	演習	トレーニング	
10	/	演習	トレーニング	
11	/	演習	トレーニング	
12	/	演習	トレーニング・試験練習	
13	/	演習	トレーニング・試験練習	
14	/	試験		
15	/	振り返り	後期に向けてのトレーニングプラン作成	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	生物分類学	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1	担当教員	浅岡
	(ANIMAL Taxonomy & Reserch)	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
学科・コース	エコ・テクノロジー科						
教員の略歴	環境系NPO法人で耕作放棄地の利活用、環境再生活動、自然教育活動およびその指導に携わる						
授業の学習内 容	生物の分類、形態、生態について学び、理解を深める。 生物(一般)について学び、理解を深める。 生物の実物とその種名について実践を通して学び、理解を深める。						
到達目標	生物分類の知識を習得できる。 動物の「種」をきちんと認識できる。 植物の「種」をきちんと認識できる。 生物多様性について議論することができる。						
評価方法と基準	筆記試験(100段階で採点)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/11	講義	生物分類の必要性について説明できる	プリント
2	4/18	講義	生物分類の必要性について説明できる	プリント
3	4/25	講義	生物分類技能検定問題に取り組みその一部を説明できる	プリント
4	5/9	講義	間違った内容を再学習し、正答を解説できる	プリント
5	5/16	講義	過去問題に取り組みその一部を説明できる	プリント
6	5/23	講義	間違った内容を再学習し、正答を解説できる	プリント
7	5/30	講義	模擬試験	これまでに学んだ内容を復習しておく
8	6/13	講義	模擬試験で間違った内容を再学習し、正答を解説できる	模擬試験で間違った内容について復習をする
9	6/20	講義	過去問題に取り組みその一部を説明できる	プリント
10	6/27	講義	間違った内容を再学習し、正答を解説できる	プリント
11	7/4	講義	過去問題に取り組みその一部を説明できる	プリント
12	7/11	講義	間違った内容を再学習し、正答を解説できる	プリント
13	7/18	演習	生物実物を観察し適切な種名を回答できる	プリント
14	8/22	試験	筆記試験	これまでに学んだ内容を復習しておく
15	8/29	講義	ウイークポイントを克服できる	筆記試験で間違った内容について復習をする
準備学習 時間外学習			授業内で使用するプリントのノートへの転記がよい。	
【使用教科書・教材・参考書】 □ 改訂版 生物分類技能検定3級4級 解説集				

科目名	フィールドテクニク	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	鈴田
(英)	( Outdoor Technique )	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
学科・専攻	エコ・テクノロジー科						
教員の略歴	自然体験のアクティビティを提供するNPO法人森の学校を運営						
授業の学習内容	フィールドでの活動に必要な基本的な技術と知識を身につけます。山岳地帯や野外での行動において、安全かつ効果的に活動するためのスキルを習得します。						
到達目標	山岳地帯や野外での活動に必要な基本的な技術と知識を習得する。 地図やコンパスを使いこなし、アウトドアでの安全なナビゲーションができるようになる。 双眼鏡やルーペを利用して、観察や植物の識別を行い、豊かな自然環境を楽しむ能力を身につける。 雨天時のフィールド活動に対応し、安全かつ効果的な行動ができるようになる。 評価方法と基準:						
評価方法と基準	評価方法は実際のフィールドワークや実技、グループワークの成果を総合的に考慮して行います。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	演習	山歩きの基本姿勢と歩行技術の実践	
2	/	演習	山道や急斜面での歩き方の練習	
3	/	演習	地形や地質の特徴を考慮した山歩きの実践	
4	/	演習	地図の基本要素と読み方の解説	
5	/	演習	地図を使ったナビゲーションの基本技術	
6	/	演習	コンパスを用いた方位の把握と実践	
7	/	演習	アウトドアでの服装と防寒対策の重要性	
8	/	演習	適切な靴や装備の選び方と使用方法	
9	/	演習	必要なアウトドア用具の準備と携行方法の確認	
10	/	演習	双眼鏡を使った観察技術と観察ポイントの特定	
11	/	演習	ルーペを活用した微小な観察と植物の識別	
12	/	演習	デジカメを用いたフィールドノートの記録方法とデータ管理の実習	
13	/	演習	様々なフィールドで実践1	
14	/	演習	様々なフィールドで実践2	
15	/	演習	環境への配慮と安全対策	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	海洋調査	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	阿部翔平
	(Marine Reserch)	授業 形態	講義、演 習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
学科・コース	エコ・テクノロジー科						
教員の略歴	大学卒業後、南紀白浜アドベンチャーワールド、アニマルカフェ、八木山動物公園で飼育員として勤務						
授業の学習内容	野生の海洋哺乳類を観察対象とし、船上および陸地より、海洋生物の目視調査を行う。						
到達目標	目視調査において、GARMINを使用してGPSで軌跡を記録し、行動コードを使用して観察記録を取ることができる。また目視発見記録表を記録し、データのまとめができる。						
評価方法と基準	出席20%、その他80%(研究への取り組み方、目標への到達度、プレゼンテーションのクオリティ)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義、演習	目視調査方法①スナメリについて	
2	/	講義、演習	目視調査方法②GPSデータの取り方、観察記録の取り方	
3-5	/	講義、演習	船上からの海洋調査①～松島湾～	
6-8	/	講義、演習	データまとめ	課題
9-11	/	講義、演習	船上からの海洋調査②～松島湾～	
12-14	/	講義、演習	データまとめ	課題
15-17	/	講義、演習	船上からの海洋調査③～松島湾～	
18-20	/	講義、演習	データまとめ	課題
9	/	講義、演習	陸地からの海洋調査④～亶理～	
10	/	講義、演習	データまとめ	課題
11	/	講義、演習	陸地からの海洋調査⑤～亶理～	
12	/	講義、演習	データまとめ	課題
28	/	講義、演習	海洋調査①～⑤データまとめ	
29	/	講義、演習	試験	
30	/	講義、演習	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 おしかホエールランド様講義資料				

科目名 (英)	魚類研究 ( Fish Biology )	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	岡村淳市
学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	民営、公立、公営の3形態の水族館に勤務、展示・教育普及部門を経験する。学芸員有資格者						
授業の学習内容	水圏(海洋域・陸水域)にひろく分布する魚類の形態学、系統分類学、生態学を総論と各論で学び、間口の広い理解力を培う。 近年、従来の定説が覆される事例も多いので最新の調査研究結果も紹介しながら授業を進める。						
到達目標	①魚類生物学的諸研究の最新事情を把握する。 ②分類学 リンネ式学名の成り立ち、運用について理解を深める。 ③系統学 分類上の発展的な位置を確認する。 ④産業・生態的に重要と考えられる分類群は特に取り上げて知見を得る。						
評価方法と基準	記述試験60% 授業内評価40% (記述試験 :理解度、解説・文章力を評価) (授業内評価:受講姿勢、発言および出席率を評価)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/9	講義	種名・学名・和名の分類を知る。	配布資料巻末の「まとめ」を各自復習
2	4/16	講義	命名規約、系統樹を知る。	〃
3	4/23	講義	基礎的構造や名称を知る。	〃
4	5/7	講義	体形の種類や体色を知る。	〃
5	5/14	講義	浸透圧調整や鰓の機能を知る。	〃
6	5/21	講義	側線や母川回帰について知る。	〃
7	5/28	講義	現生円口類と大量絶滅の関連を知る	〃
8	6/11	講義	主な板鰓類の特徴を知る。	〃
9	6/18	講義	現生レリック(遺存種)を知る。	〃
10	6/25	講義	原始的な条鰭類を知る。	〃
11	7/2	講義	現生硬骨魚類を知る。	〃
12	7/9	講義	〃	〃
13	7/16	講義	各巻末資料の「まとめ」を解説する。	
14	8/20	講義	記述テスト	
15	8/27	講義	試験結果の質疑・回答および解説	
準備学習 時間外学習			授業予定テーマの予習および各巻末まとめ問題の復習	
【使用教科書・教材・参考書】 各回配布資料				

科目名 (英)	進級制作 I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	阿部翔平
	( Promotion Study I )	授業 形態	講義、演 習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
学科・コース	エコ・テクノロジー科						
教員の略歴	大学卒業後、南紀白浜アドベンチャーワールド、アニマルカフェ、八木山動物公園で飼育員として勤務						
授業の学習内容	グループごとに自らテーマを設定し、自主的に観察、調査を積み重ね、Weare卒業進級展を主な目標として抄録やポスターの作成、口頭発表の準備を行う。						
到達目標	水族館や動物園、その他の動植物飼育施設では日々の飼育業務だけでなく、希少な動植物の保護および繁殖、飼育環境の改良、改善のために生態や行動をよく観察し、飼育方法や繁殖方法の確立、より良い飼育環境作りを目指すことも大切な仕事となっており、その重要性は年々高まってきている。その基礎となるのが「研究」という視点、思考であり、自分で調べ考えた事柄を客観的に他者に伝わる形にまとめ上げプレゼンテーションする力を身に付ける。						
評価方法と基準	出席20%、その他80%(研究への取り組み方、目標への到達度、プレゼンテーションのクオリティ)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	演習	進級制作ガイダンス、テーマの考え方について	
2	/	演習	情報収集	
3	/	演習	情報収集、テーマ決定	
4	/	演習	中間発表① テーマ発表	パワーポイント、原稿
5	/	演習	情報収集、コンセプト・内容設定 (背景、コンセプト、内容、ターゲット、メリット)	
6	/	演習	コンセプト・内容設定 (背景、コンセプト、内容、ターゲット、メリット)	
7	/	演習	制作	
8	/	演習	制作	
9	/	演習	中間発表② 経過報告、テーマ再確認	
10	/	演習	制作	
11	/	演習	制作	
12	/	演習	制作	
13	/	演習	制作	
14	/	演習	中間発表③ 経過報告	パワーポイント、原稿
15	/	演習	前期のまとめ	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 パソコン持参				

科目名 (英名)	グローバルコミュニケーションA-2 (Global CommunicationA-2)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	ILC
学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
教員の略歴	本部国際センターであり、英語をはじめとする外国語教育を3万6000人の学生に対して提供しています。毎年、英語スピーチコンテストを主催し、入賞した学生をオーストラリアのクイーンズランド大学やアメリカのウエストフロリダ大学をはじめ教育提携校に短期語学留学で派遣しています。						
授業の学習 内容	対面授業では、オンデマンド授業で学んだことを会話やライティングを通して実践します。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	授業内評価100%(前期、後期それぞれ各レッスンの小テスト計5回/1 Unit × 6 Unit = 30回、出席率、試験)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
		演習	個人的な情報について尋ねる、また述べる ことができる。個人的な経歴等のプロフィール を読む、また書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	友達や家族について表現することができる。 友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書 かれている情報を読みとることができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	家や家具について話すことができる。 ホームシェアについてのメールを読む、書く ことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	好きな事について話すことができる。 商品のレビューを読み、書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	平日、週末のアクティビティについて話すこと ができる。 日常のアクティビティについてのレポートを 読む、また書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	道順について尋ねる、また教えることが できる。 場所についての特徴について読み、書くこと ができる。	対面前オンデマンド予習
		演習		
		演習	テスト前対策	
		演習	試験	
		演習	ふりかえり	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	キャリアデザインⅡ ( Career DesignⅡ )	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	阿部翔平
学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義、演 習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴	大学卒業後、アドベンチャーワールド、アニマルカフェ、八木動物園で勤務						
授業の学習内 容	学校での校内講義、および校外講義を実施し、職業人教育を通し、社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。 また個人での取り組みや、グループでの取り組みを行い、主体性を身につける。						
到達目標	個人及びグループ内でお客様や展示を考慮し、ニーズに合わせた企画、発表ができる。 企業の取り組みについて、理解する。						
評価方法と基準	試験30%、授業内評価70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	講義	スケジュール確認、キャリアサポートアンケート	
2	／	講義	ITリテラシー、クラスマネジメント勉強会	
3	／	講義、演習	体感型推理ゲーム(クラスマネジメント)	
4	／	講義、演習	学園祭準備(クラスマネジメント、ブレインストーミング)	パソコン持参
5	／	講義	学園祭準備(クラスマネジメント、企画・準備)	パソコン持参
6	／	講義	学園祭準備(クラスマネジメント、準備)	パソコン持参
7	／	講義	学園祭準備(クラスマネジメント、準備)	パソコン持参
8	／	講義、演習	チラシ作成 (クリエイティブ、アイデア:個人ワーク)	各水族館・動物園パンフレット準備
9	／	講義、演習	チラシ作成 (クリエイティブ、アイデア:個人ワーク)	各自情報収集
10	／	講義、演習	チラシ発表、評価	各自チラシ仕上げ
11	／	講義、演習	DXリテラシー、 パワーポイント(デザインテクニック)	パソコン持参
12	／	講義、演習	パワーポイント(デザインテクニック)	パソコン持参
13	／	講義	担任とっておき講座Ⅰ	パソコン持参
14	／	講義	担任とっておき講座Ⅱ、テスト前ふりかえり	パソコン持参

15	/	講義	テスト	
準備学習		時間外学習		
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	公衆衛生学 (Public Morality Health)		必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	高山清次
	学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	麻布大学大学院獣医学部博士課程修了(獣医学博士)、ブルークロス動物病院院長							
授業の学習内容	疾病や健康増進のしくみを学び、理解し明確な知識を持って、動物関係の仕事をする時はもちろんのこと、日常生活においても、この知識を役立てる。							
到達目標	この科目を受講した学生が、動物飼育の仕事に携わる時、公衆衛生の知識を持って、行動できることを目標とする。							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業内評価:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	公衆衛生の概要を把握する。	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義	動物のよい飼育環境を理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義	①環境衛生について理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	②環境衛生について理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	疾病の定義について理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	防疫について、実践できる。	講義範囲を予習・復習する。
7	/	講義	①消毒のしくみについて理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
8	/	講義	②消毒のしくみについて理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
9	/	講義	①病原体について理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
10	/	講義	②病原体について理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
11	/	講義	ワクチンの仕組みについて述べるができる。	講義範囲を予習・復習する。
12	/	講義	①ズーノーシスを理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
13	/	講義	②ズーノーシスの予防を実践することができる。	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15	/	講義	評価試験返却・解説・まとめ	試験範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習 時間外学習			学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
学校の図書室にある公衆衛生関係の本やインターネットを利用する。				

科目名 (英)	インタープリテーション ( Interpretive Training )	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	岡村裕美
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	エコ・テクノロジー科						
教員の略歴	複数の動物園 水族館に勤務。飼育展示、調教、広報、ショーの運営進行などを経験。飼育技師資格有						
授業の学習内容	①インタープリテーションの意味と役割を理解し、演習を繰り返しながら即戦力となるために必要 ②企画やプランニング、動物に携わる科目とも関連、実践に役立つ ③学生の皆様には、時間外学習も行い、幅広い対応を自ら考え、活用できるようにしていきたい						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インタープリテーションを楽しく実践できるようになる。</li> <li>・課題に対する知識を深め、学習し、展開できるようにする。</li> <li>・他の学生と共同で作業に取り組み、連携して実践できるようになる</li> </ul>						
評価方法と基準	1) 定期試験 50% 2) 実技試験 30% 3) 授業内評価 20% ※理想的な達成レベルは定期試験 C以上 ※授業内評価では、準備、時間外学習での学習課題も含めてルーブリック評価で判断する						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月12日	講義	インタープリテーションについて理解する	ノート復習
2	4月19日	講義	解説の重要性について知る	〃
3	4月26日	講義	解説の種類について学ぶ事が出来る	ノート復習及び演習準備
4	5月10日	講義と演習	効果的なインタープリテーションを知る	〃
5	5月17日	講義と演習	進行プログラム構成を知る	〃
6	5月24日	講義と演習	進行プログラムの段取りを実践できる	〃
7	5月31日	講義と演習	インタープリテーション資料について理解する	〃
8	6月14日	講義と演習	対象者別の解説について理解できる	〃
9	6月21日	講義と演習	資料の作成を実践できる①	〃
10	6月28日	講義と演習	資料の作成を実践できる②	〃
11	7月5日	講義と演習	資料の作成と活用方法を知る	〃
12	7月12日	講義	前期まとめ	実技試験準備
13	7月19日	講義と演習	実技テスト	試験準備
14	8月23日	試験	記述テスト	
15	8月30日	解説	前期ふりかえり	
準備学習 時間外学習			演習の事前準備を実施、まとめをする	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
改訂版 新 飼育ハンドブック(動物園編 水族館編)				

科目名 (英)	畜産飼養 ( Feeding and Breeding Management for Domestic Animals )	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	永山雄一
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
学科・コース	エコ・テクノロジー科						
教員の略歴	獣医師、仙台市動物管理センター、八木山動物公園、太白保健所、食肉衛生検査所勤務を経て動物系専門学校兼任講師						
授業の学習内容	長く家畜として飼養してきた動物福祉の技術と知識を学び、動物飼育施設の運営に役立てる。						
到達目標	動物種の特性を説明できるようになる。特性に合った飼育方法を説明できるようになる。						
評価方法と基準	授業内評価40%、定期試験60%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月11日	講義	動物の家畜化を説明できる	
2	4月18日	講義	牛の品種・特徴を説明できる	
3	4月25日	講義	牛の食性と消化器を説明できる	
4	5月9日	講義	牛の感覚器と生殖器を説明できる	
5	5月16日	講義	酪農について説明できる	
6	5月23日	講義	ヒツジ、ヤギの品種、特徴を説明できる	
7	5月30日	講義	ヒツジ、ヤギの食性と消化器を説明できる	
8	6月11日	講義	実際に牧場にて各動物の観察をする	
9	6月20日	講義	観察の振り返り	
10	6月27日	講義	ヒツジ、ヤギの感覚器と生殖器を説明できる	
11	7月4日	講義	馬の品種・特徴を説明できる	
12	7月11日	講義	馬の食性と消化器を説明できる	
13	7月18日	講義	テスト前まとめ	
14	8月22日	講義	試験	
15	8月29日	講義	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英名)	ファーム演習 (Practice of Farm Animal Management)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	阿部翔平
学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴	大学卒業後、南紀白浜アドベンチャーワールド、アニマルカフェ、八木山動物公園で飼育員として勤務						
授業の学習 内容	畜産飼養で学んだ生体管理を、実際に現場で実践し学ぶとともに、サービスや施設管理についても学び、運営方法を身につける。						
到達目標	農場の運営方法を学び、実際に飼育管理、サービス、施設管理を行えるようになる。						
評価方法と基準	実習取り組み 60% レポート課題 40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1-2		演習	農場における飼育管理について学ぶ	実施後レポート課題
3-4		演習	農場における飼育管理について学ぶ	実施後レポート課題
5-6		演習	農場における飼育管理について学ぶ	実施後レポート課題
7-8		演習	農場における飼育管理について学ぶ	実施後レポート課題
9-10		演習	農場における飼育管理について学ぶ	実施後レポート課題
11-12		演習	農場におけるサービス(販売、飲食)について学ぶ	実施後レポート課題
13-14		演習	農場におけるサービス(販売、飲食)について学ぶ	実施後レポート課題
15-16		演習	農場におけるサービス(販売、飲食)について学ぶ	実施後レポート課題
17-18		演習	農場におけるサービス(販売、飲食)について学ぶ	実施後レポート課題
19-20		演習	農場におけるサービス(販売、飲食)について学ぶ	実施後レポート課題
21-22		演習	農場における施設管理について学ぶ	実施後レポート課題
23-24		演習	農場における施設管理について学ぶ	実施後レポート課題
25-26		演習	農場における施設管理について学ぶ	実施後レポート課題
27-28		演習	農場における施設管理について学ぶ	実施後レポート課題
29-30		演習	農場における施設管理について学ぶ	実施後レポート課題
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	潜水士対策 (Diving Examination)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	小野寺 紘也
学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	ダイビングショップ勤務、PADIコースディレクター、潜水士資格所持						
授業の学習内容	潜水士の教科書、過去問を中心に分析して生徒全員にわかりやすい授業を心がける。過去の試験問題を参照して抜粋して効率よく学べるようにプリントを配布する等の工夫も取り入れる。						
到達目標	潜水士の国家試験に合格できるよう知識を身につける。						
評価方法と基準	授業内評価100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	潜水士問題集での講義	潜水業務について
2		講義	潜水士問題集での講義	潜水業務について
3		講義	潜水士問題集での講義	送気、潜降及び浮上について
4		講義	潜水士問題集での講義	送気、潜降及び浮上について
5		講義	潜水士問題集での講義	高気圧障害について
6		講義	潜水士問題集での講義	高気圧障害について
7		講義	潜水士問題集での講義	関係法令について
8		講義	潜水士問題集での講義	関係法令について
9		講義	過去問での復習	潜水業務について
10		講義	過去問での復習	送気、潜降及び浮上について
11		講義	過去問での復習	高気圧障害について
12		講義	過去問での復習	関係法令について
13		講義	過去問での復習	全体を通しての見直し
14		講義	過去問での復習	全体を通しての見直し
15		講義	過去問での復習	全体を通しての見直し
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
潜水士教科書、問題集、過去問プリント				

科目名 (英)	トリミング演習 (Practice of Grooming)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	菊池真希
学科・専攻	エコ・テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
教員の略歴	SCA卒業後、トリマーとして勤務。ドッグカフェ付トリミングサロンにて店長就任。現在はフリーのトリマー。						
授業の学習内容	犬の扱い方、道具の使い方などを学び正しく使えるようになるために、座学およびモデル犬での実技を通して実践する。 分からないことは質問し、考える力を身につける。						
到達目標	犬の扱い方、道具の使い方などを学び正しく使えるようになる。 カットの前までのグルーミングが1人で1頭できるようになる。						
評価方法と基準	普段の実習での取り組み80% 出席数20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	道具の使い方が理解できる	講義範囲の復習
2	/	講義・演習	演習の仕方が理解できる	演習範囲の復習
3	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
4	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
5	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
6	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
7	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
8	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
9	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
10	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
11	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
12	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
13	/	演習	グルーミングの実践ができる	演習範囲の予習・復習
14	/	演習	試験	演習範囲の予習・復習
15	/	演習	まとめ	演習範囲を振り返る
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	ドッグトレーニングⅡ (Dog TrainingⅡ)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	三田舞
学科・専攻	エコ・テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	金1-2
教員の略歴	動物系専門学校を卒業後、犬猫のテーマパークで勤務。ドッグトレーナーとして独立。アニマルファミリー代表。						
授業の学習内容	一年生で学習したトレーニング技術を使い学校犬外の犬の扱い方を学ぶ。						
到達目標	モデル犬のトレーニングを通して、計画的にトレーニングを行っていく事を学ぶ。また、飼い主さんとのコミュニケーションの取り方を学ぶ。						
評価方法と基準	定期テスト80% 出席率20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	演習	担当犬決め半年のトレーニングプラン作成	
2	/	演習	トレーニング	
3	/	演習	トレーニング	
4	/	演習	トレーニング	
5	/	演習	トレーニング	
6	/	演習	トレーニング	
7	/	演習	トレーニング	
8	/	演習	トレーニング	
9	/	演習	トレーニング	
10	/	演習	トレーニング	
11	/	演習	トレーニング	
12	/	演習	トレーニング	
13	/	演習	トレーニング	
14	/	試験	試験	
15	/	振り返り	後期に向けてのトレーニングプラン作成	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	企画プランニング演習 (Practice of Business Planning)		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	阿部翔平
学科・コース	エコ・テクノロジー科		授業 形態	講義、演 習	総時間 (単位)	240 16	開講区分	通年
教員の略歴	大学卒業後、南紀白浜アドベンチャーワールド、アニマルカフェ、八木山動物公園で飼育員として勤務							
授業の学習内容	イベントやプロジェクトの企画・立案・実行に必要な基本的な知識やスキルを企業プロジェクトを通し、学びます。具体的には、イベントのコンセプト作り、予算の作成やスケジュール管理など企画書作成方法について学びます。また、テクノロジー分野を取り入れて、企画を考案し、実際に発表することで実践的なスキルを身につけます。							
到達目標	イベントやプロジェクトの企画・立案・実行に必要な基本的な知識やスキルを習得し、実践的な経験を積むことで一人一人がマネジメントできるようになる。またAIの技術を生かして、マネジメントができるようになる。							
評価方法と基準	授業内評価100%(レポート、出席、授業取り組み、企業様評価)							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1-3	4/10、11	講義・演習	企業プロジェクトについて【日本出版販売株式会社様】(プレスト、情報収集)、企画におけるPDCAについて			論文、書籍、インターネット		
4-6	4/24、25	講義・演習	情報収集より各自テーマ決定、コンセプト・内容設定(背景、コンセプト、内容、ターゲット、メリット) AIを用いた企画方法を学ぶ(規約、ChatGPT、プロンプト設定)			パワーポイント		
7-9	5/8、9	講義・演習	コンセプト・内容設定(背景、コンセプト、内容、ターゲット、メリット) AIを用いた企画方法を学ぶ(ChatGPT)			パワーポイント		
10-12	5/22、23	講義・演習	中間発表① 個人発表(企業様) AIを用いた企画方法を学ぶ(ChatGPT×Image creator)			パワーポイント、原稿(個人)		
13-15	6/12、13	講義・演習	企画・内容決定、内容ブラッシュアップ AIを用いた企画方法を学ぶ(理想の動物園、水族館)			各自役割分担(2チーム)		
16-18	6/19、20	講義・演習	仮説、予算設定(予算申請)、集客目標設定、調査・分析方法設定、イベントプロモーション考案、AIを用いた企画方法を学ぶ AIを用いた企画方法を学ぶ(前回の続き)			各自役割分担(2チーム)		
19-21	6/26、27	講義・演習	企画書作成・提出、AIを用いた企画方法を学ぶAIを用いた企画方法を学ぶ(動画生成AI、音声生成AI)			各自役割分担(2チーム)		
22-24	7/3、4	講義・演習	プレイベント準備、AIを用いた企画方法を学ぶ(AI×企画)			各自役割分担(2チーム)		
25-27	7/10、11	講義・演習	中間発表②イベントデモンストレーション(企業様)、 内容ブラッシュアップ			パワーポイント、原稿(2チーム)		
28-30	要相談	講義・演習	イベント運営方法を学ぶ			日本出版販売株式会社様のイベントに参加		
31-45	7/24、25、 26	講義・演習	実際に各種施設を見学し、運営方法を学ぶ(動物園、エンターテイメント施設、博物館等)			レポート作成		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 パソコン持参、企業様作成資料								

科目名 (英名)	グローバルコミュニケーションB-2 (Global CommunicationB-2)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	ILC
学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	180 12	開講区分	通年
教員の略歴	本部国際センターであり、英語をはじめとする外国語教育を3万6000人の学生に対して提供しています。毎年、英語スピーチコンテストを主催し、入賞した学生をオーストラリアのクイーンズランド大学やアメリカのウエストフロリダ大学をはじめ教育提携校に短期語学留学で派遣しています。						
授業の学習 内容	オンデマンド授業は予習として語彙や文法の、スピーキングやライティングにおける表現方法について学習します。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しを理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的な情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	授業内評価100%(前期、後期それぞれ各レッスンの小テスト計5回/1 Unit × 6 Unit = 30回、出席率、試験)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
		演習	個人的な情報について尋ねる、また述べる ことができる。個人的な経歴等のプロフィール を読む、また書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	友達や家族について表現することができる。 友達や家族の画像にスレッドを入れたり、書 かれている情報を読みとることができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	家や家具について話すことができる。 ホームシェアについてのメールを読む、書く ことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	好きな事について話すことができる。 商品のレビューを読み、書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	平日、週末のアクティビティについて話すこと ができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	日常のアクティビティについてのレポートを 読む、また書くことができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	道順について尋ねる、また教えることが できる。	対面前オンデマンド予習
		演習	場所についての特徴について読み、書くこと ができる。	対面前オンデマンド予習
		演習	テスト前対策	
		演習	試験	
		演習	ふりかえり	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	進級制作Ⅱ ( Promotion StudyⅡ )		必修 選択	選択	年次	2	担当教員	阿部翔平
	学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義、演 習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
教員の略歴	大学卒業後、南紀白浜アドベンチャーワールド、アニマルカフェ、八木山動物公園で飼育員として勤務							
授業の学習内容	グループごとに自らテーマを設定し、自主的に観察、調査を積み重ね、Weare卒業進級展を主な目標として抄録やポスターの作成、口頭発表の準備を行う。							
到達目標	水族館や動物園、その他の動植物飼育施設では日々の飼育業務だけでなく、希少な動植物の保護および繁殖、飼育環境の改良、改善のために生態や行動をよく観察し、飼育方法や繁殖方法の確立、より良い飼育環境作りを目指すことも大切な仕事となっており、その重要性は年々高まってきている。その基礎となるのが「研究」という視点、思考であり、自分で調べ考えた事柄を客観的に他者に伝わる形にまとめ上げプレゼンテーションする力を身に付ける。							
評価方法と基準	授業内評価100% (出席率20%、その他80%(研究への取り組み方、目標への到達度、プレゼンテーションのクオリティ))							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1	／	講義	各担当動物ふりかえり、八木山ツアー内容決め (3分キーパートーク)		過去データふりかえり			
2	／	講義	八木山ツアー内容決め(3分キーパートーク)、ルート決め		過去データふりかえり			
3	／	講義	八木山ツアー内容決め(3分キーパートーク)、ルート決め		過去データふりかえり			
4	／	講義	サンプリング		観察表作成			
5	／	講義と演習	サンプリング		観察表作成			
6	／	講義と演習	サンプリング		観察表作成			
7	／	講義	サンプリング		観察表作成			
8	／	講義と演習	サンプリング		観察表作成			
9	／	講義と演習	サンプリング		観察表作成			
10	／	講義	サンプリング		観察表作成			
11	／	講義と演習	サンプリング		観察表作成			
12	／	講義と演習	サンプリング		観察表作成			
13	／	講義	サンプリング		観察表作成			
14	／	講義と演習	サンプリング		観察表作成			
15	／	講義と演習	サンプリング		半期データ提出			
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 □								

科目名 (英)	進級制作Ⅲ ( Promotion StudyⅢ )		必修 選択	選択	年次	3	担当教員	阿部翔平
	学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義、演 習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
教員の略歴	大学卒業後、南紀白浜アドベンチャーワールド、アニマルカフェ、八木山動物公園で飼育員として勤務							
授業の学習内容	グループごとに自らテーマを設定し、自主的に観察、調査を積み重ね、Weare卒業進級展を主な目標として抄録やポスターの作成、口頭発表の準備を行う。							
到達目標	水族館や動物園、その他の動植物飼育施設では日々の飼育業務だけでなく、希少な動植物の保護および繁殖、飼育環境の改良、改善のために生態や行動をよく観察し、飼育方法や繁殖方法の確立、より良い飼育環境作りを目指すことも大切な仕事となっており、その重要性は年々高まってきている。その基礎となるのが「研究」という視点、思考であり、自分で調べ考えた事柄を客観的に他者に伝わる形にまとめ上げプレゼンテーションする力を身に付ける。							
評価方法と基準	授業内評価100% (出席率20%、その他80%(研究への取り組み方、目標への到達度、プレゼンテーションのクオリティ))							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1	／	講義	スケジュール確認、キャリアサポートアンケート					
2	／	講義	ITリテラシー					
3	／	講義	パワーポイント(デザインテクニック)					
4	／	講義	パワーポイント(デザインテクニック)					
5	／	講義	見積もり依頼・作成、メール対応など					
6	／	講義	各種動物園、水族館の取り組み、課題(情報収集)					
7	／	講義	AIを用いた企画方法を学ぶ(AI×企画)			個人ワーク		
8	／	講義	AIを用いた企画方法を学ぶ(AI×企画)			個人ワーク		
9	／	講義	AIを用いた企画方法を学ぶ(AI×企画)			個人ワーク		
10	／	講義	AIを用いた企画方法を学ぶ(AI×企画)			個人ワーク		
11	／	講義	AIを用いた企画方法を学ぶ(AI×企画)			個人ワーク		
12	／	講義	AIを用いた企画方法を学ぶ(AI×企画)			個人ワーク		
13	／	講義	企画発表、評価			プレゼンテーション、原稿準備		
14	／	講義	担任とっておき講座Ⅰ					
15	／	講義	担任とっておき講座Ⅱ					
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>								

科目名 (英)	業界研修 (Business Internship)		必修 選択	選択	年次	3	担当教員	阿部翔平
	学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	実習・実 技	総時間 (単位)	180 6	開講区分	通年
教員の略歴	大学卒業後、南紀白浜アドベンチャーワールド、アニマルカフェ、八木山動物公園で飼育員として勤務							
授業の学習内容	業界の現場である各種の動物関連企業において、実際の仕事を体験し、自己研鑽の場や将来の就職に結びつけます。							
到達目標	業界の現場を通して実践することで、管理技術や運営方法を学び、学校生活やインターンシップの際に実践できるようになる。							
評価方法と基準	授業内評価100% (出席率20%、レポート80%)							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1	／	講義	動物園・水族館研修					
2	／	講義	動物園・水族館研修					
3	／	講義	動物園・水族館研修					
4	／	講義	動物園・水族館研修					
5	／	講義	動物園・水族館研修					
6	／	講義	動物園・水族館研修					
7	／	講義	動物園・水族館研修		個人ワーク			
8	／	講義	動物園・水族館研修		個人ワーク			
9	／	講義	博物館研修		個人ワーク			
10	／	講義	博物館研修					
11	／	講義	博物館研修					
12	／	講義	博物館研修					
13	／	講義	博物館研修					
14	／	講義	博物館研修					
15	／	講義	ふりかえり					
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 □								

科目名 (英)	特別講義Ⅲ (Business Internship)		必修 選択	選択	年次	3	担当教員	阿部翔平
	学科・コース	エコ・テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	270 18	開講区分	通年
教員の略歴	大学卒業後、南紀白浜アドベンチャーワールド、アニマルカフェ、八木山動物公園で飼育員として勤務							
授業の学習内容	業界で活躍されているプロの方々から豊富な知識と情報をいただける講義、および各種施設見学を行います。							
到達目標	プロの方より講義いただき、これまでの授業での学びをより深め、実践できる。							
評価方法と基準	授業内評価100% (出席率20%、レポート80%)							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1	／	講義	飼育管理、生態、保全、トレーニング、語学について					
2	／	講義	飼育管理、生態、保全、トレーニング、語学について					
3	／	講義	飼育管理、生態、保全、トレーニング、語学について					
4	／	講義	飼育管理、生態、保全、トレーニング、語学について					
5	／	講義	飼育管理、生態、保全、トレーニング、語学について					
6	／	講義	飼育管理、生態、保全、トレーニング、語学について					
7	／	講義	飼育管理、生態、保全、トレーニング、語学について					
8	／	講義	飼育管理、生態、保全、トレーニング、語学について					
9	／	講義	飼育管理、生態、保全、トレーニング、語学について					
10	／	講義	飼育管理、生態、保全、トレーニング、語学について					
11	／	講義	飼育管理、生態、保全、トレーニング、語学について					
12	／	講義	飼育管理、生態、保全、トレーニング、語学について					
13	／	講義	飼育管理、生態、保全、トレーニング、語学について					
14	／	講義	飼育管理、生態、保全、トレーニング、語学について					
15	／	講義	飼育管理、生態、保全、トレーニング、語学について					
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>								